

2024 年 9 月 10 日（火）発表  
愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学  
担当 芸術情報・広報課（木村・小山）  
電話 0561-76-2873（ダイヤルイン）  
E-mail geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp

## 2024 愛知パーカッション・フェア～「共鳴～Kyo-meい」

### が繋ぐさまざまなパーカッションの世界～

#### 【愛知芸大芸術講座】メディア・クロス・トーク

このたび、愛知県立芸術大学では、公益財団法人シキシマ学術・文化振興財団の助成を受け、『2024 愛知パーカッション・フェア～「共鳴～Kyo-meい」が繋ぐさまざまなパーカッションの世界～』を開催いたします。

2021 年度に立ち上げた「共鳴～Kyo-meい」プロジェクトを拡大させ、パーカッションにまつわるさまざまなプロフェッショナル達をお招きし、2 日間に渡る展示及び愛知芸大芸術講座「メディア・クロス・トーク」を開催いたします。

是非貴社にお取り上げいただきたく、お願い申し上げます。

【タイトル】 2024 愛知パーカッション・フェア～「共鳴～Kyo-meい」が繋ぐさまざまなパーカッションの世界～  
愛知芸大芸術講座「メディア・クロス・トーク」

#### 2024 愛知パーカッション・フェア

【日 時】 2024 年 11 月 9 日（土）～10 日（日）12：00～17：00（入場は 16：30 まで）

【会 場】 愛知県立芸術大学 芸術資料館（愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114）

【出 展 者】 加藤 滋氏（樹木医）、深田 順子氏（愛知県立大学看護学部教授）、酒向 慎司氏（名工大准教授）、他

【参加方法】 入場無料・事前申込不要

#### 【愛知芸大芸術講座】メディア・クロス・トーク

【日 時】 2024 年 11 月 9 日（土）、10 日（日）13：00～14：30

【講 師】 9 日 旭堂 麟林氏（講談師）×酒向 慎司氏（名工大准教授）×ウエヤマトモコ氏（本学職員音響作家）  
10 日 イサオ・ナカムラ氏（パーカッショニスト）×坂田 直樹氏（作曲家）×小林 大地氏（本学職員金  
工作家）

【受 講 料】 無料・事前申込不要

【会 場】 愛知県立芸術大学 芸術資料館 地下演習室（愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114）

【問い合わせ】 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 TEL. 0561-76-2873

URL: <https://www.aichi-fam-u.ac.jp>

# 2024 愛知パーカッション・フェア

～「共鳴～Kyo-meï」が繋ぐさまざまなパーカッションの世界～  
2024年11月9日(土)～10日(日)12:00～17:00(入場は16:30まで)  
愛知県立芸術大学 芸術資料館 [入場無料]

あなたは“パーカッション”を知っていますか？わたしたちの身の回りにある“パーカッション”が大集合！この展示を見たら、あなたの常識意識がガラリと変わるかも！？



“モノづくり愛知”から発信するジャンルレスイベント！社会、産業、アート、音楽、娯楽…ありとあらゆる日常が、“パーカッション”を通じて、「触れて・叩いて・感じて」繋がる！

令和6年度 愛知芸大芸術講座

## メディア・クロス・トーク

多様なジャンルの専門家が参加し、さまざまな角度から“パーカッション”の本質に迫る。

前代未聞の異業種によるフリートークから、どんな展開が起こるのか？

ゲストのスペシャルパフォーマンスもお楽しみに！

**11/9 (土) 旭堂 鱗林**(講談師) × 酒向 慎司(名工大准教授) × ウエヤマトモコ(音響作家)

**11/10 (日) イサオ・ナカムラ**(パーカッショニスト) × 坂田 直樹(作曲家) × 小林 大地(金工作家)

[司 会] 深町 浩司(本学音楽学部管打楽器コース教授)

森 真弓(本学美術学部メディア映像専攻教授)

[時 間] 13:00～14:30 [会 場] 芸術資料館 地下演習室 [受講料] 無料

[お問合せ] 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 ☎0561-76-2873※平日9:00～17:30

# “パーカッション”にまつわるプロフェッショナル大集合！

## 加藤 滋 (Shigeru Kato)

木の健康を守るお医者さんである樹木医は、木を優しく叩きその音を聴く。活きている木はいったいどんな声を発しているのだろうか…？加藤氏は瀬戸の森の木と触れあい彼らの声を聴く、**パーカッション**の達人なのである！  
樹木医／フォレストニア代表(瀬戸市)

## 深田 順子 (Junko Fukada)

医師・看護師が患者の身体を指先でトントン叩く「打診(だしん)法」は、身体が発する音で健康状態を把握する診察技法。深田氏は、県民の健康を守るべく打診法を学生に教授する、**パーカッション**の達人なのである！  
博士(看護学)／愛知県立大学看護学部教授

## 坂田 直樹 (Naoki Sakata)

けん玉が大好きな坂田氏は、世界を飛び回り活躍する作曲家。旅行では常にけん玉を持ち歩き、いろんな国でけん玉を“カチカチ”と鳴らす、**パーカッション**の達人なのである！  
作曲家／愛知県立芸大卒業生

## ウエヤマトモコ (Tomoko Ueyama)

街中のあらゆる音に耳を傾け、ひとつひとつの音の個性に光を当てるウエヤマ氏は、多様な**パーカッション**の音を録音収集して人々の耳に届ける達人なのである！  
音響作家／愛知県立芸大メディア映像スタジオ職員

## 加藤 寿和 (Toshikazu Kato)

お寺でお坊さんがボクボク叩く木魚も**パーカッション**。この木魚をすべて手彫りで作り上げる加藤氏は、愛知が世界に誇る音を生み出す、**パーカッション**の達人なのである！  
木魚職人／加藤木魚製造所(一宮市)

## 酒向 慎司 (Shinji Sako)

愛知の街を自転車で風のように行き来し、街の音を知る酒向氏。このフェアで紹介するさまざまな**パーカッション**を、音響工学の立場から鋭く分析する「音処理」の達人なのである！  
博士(工学)／名古屋工業大学工学部准教授

## 小林 大地 (Daichi Kobayashi)

ヨーゼフ・シュトラウス「鍛冶屋のバルカ」のごとく鉄をリズムカルに叩く小林氏は、金属工芸のプロ。聴覚と触覚で金属と対話しながらアート作品を生み出す、**パーカッション**の達人なのである！  
金属工芸作家／愛知県立芸大金工室工房職員

## 旭堂 鱗林 (Rinrin Kyokudo)

講談の最中に鳴らす張り扇(はりおうぎ)の「パチン！」旭堂鱗林氏がひとつたび張り扇を鳴らせば、その音によって物語は一気に時空を超え、演芸場であたたか寝る客は飛び起きる。鱗林氏は、日本伝統話芸において**パーカッション**を駆使する達人なのである！  
講談師(名古屋市在住)

## 佐藤 文子 (Fumiko Sato)

ロクロで焼き物をつくる達人である佐藤氏。素焼き前の生乾きの皿底をトントン叩き、音と触感で皿の厚さを感じながら削っていく、土の音を聴く**パーカッション**の達人なのである！  
陶芸家／愛知県立芸大美術学部准教授

## イサオ・ナカムラ (Isao Nakamura)

音楽家でありながら音楽家に見えない、初めて会うのに初めましてな感じがしないイサオ氏。ジャンルレスで自由に歌い踊り表現する、**パーカッション**の達人なのである！  
ソロ・パーカショニスト／愛知県立芸大客員教授

## 坪井 研治 (Kenji Tsuboi)

名古屋の街を東西に走る東山線の車両を保守点検する藤が丘工場。打音検査では、金づちや木の棒を巧みに使い車両を叩き、鋭い五感を駆使して車両と対話する、**パーカッション**の達人なのである！  
名古屋市交通局藤が丘工場工場長補佐(修車)

## 森 真弓 (Mayumi Mori)

触れること＝**パーカッション**はコミュニケーションの基本。世の中のありとあらゆるインターフェース(接点)に存在する**パーカッション**を探り、その意味を追う達人なのである！  
博士(美術)／愛知県立芸大美術学部教授

## 深町 浩司 (Koji Fukamachi)

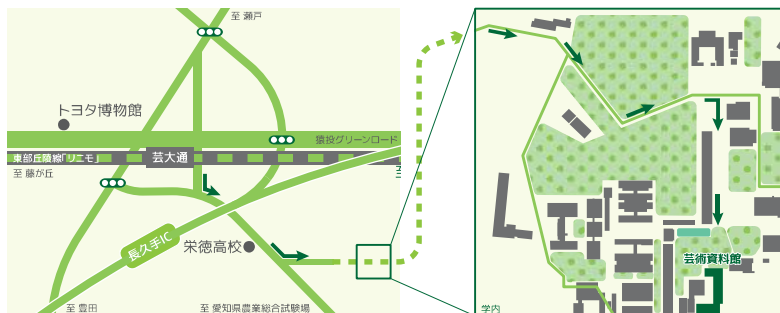
クラシック音楽界のベテラン打楽器奏者でありながら、自由天然な感性でクラシック音楽の既成概念を打ち砕く。木の枝からティンパニまで、何にでも触れて心地よい音空間をつくり出す、**パーカッション**の達人なのである！  
愛知県立芸大音楽学部教授／「共鳴～Kyo-meい」プロジェクトリーダー

## 「複合芸術研究」受講学生

今年度前期の授業に参加した学生による、新たな**パーカッション**アイデアの展示を計画中！  
愛知県立芸大美術学部・美術研究科・音楽学部・音楽研究科に所属する学生有志

## 会場へのアクセス

- 《名古屋方面から》市営地下鉄東山線「藤が丘」駅より東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車 徒歩約10分  
もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約15分
- 《豊田・瀬戸方面から》愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車 徒歩約10分
- ※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力ください。



## 「共鳴～Kyo-meい」について

パーカッションの基本となる《モノとモノと》が「触れ」て音が出ること、「触れかた」が変わると音色が変わること》を認知することから、社会生活におけるさまざまな「接触」の持つ意味に気づき、そこから社会について考える機会を生み出すための活動をする、愛知県立芸術大学発のプロジェクト

## 愛知パーカッション・フェア2024

主催:愛知県立芸術大学 社会連携センター

企画:共鳴～Kyo-meい(深町浩司、森真弓)

助成:公益財団法人シキシマ学術・文化振興財団第39回研究助成

協力:愛日緑化造園株式会社(フォレストニア)

加藤木魚製造所、名古屋市交通局

あいち県民の日連携事業

共鳴  
Kyo-meい



11.27  
あいち県民の日